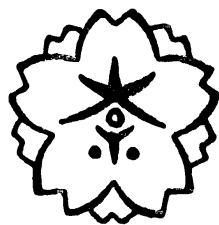


保健所事業概況

平成27年度版



奈良市保健所

はじめに

昨年は西アフリカ3国（ギニア、リベリア、シエラレオネ）を中心としたエボラウイルス病（EVD）の流行が発生しました。日本国内への流入阻止のため、検疫所での対応強化に加えて、保健所に対しても、疑似症患者と西アフリカ3国の流行国から帰国されて1か月程度の間が発熱した場合には、健康監視等の指示が出されました。そして平成27年1月26日に奈良県保健予防課と合同で、エボラ疑似症患者の搬送訓練を実施しました。

また昨年8月には、海外渡航歴のないデング熱患者の国内感染例の報告があり、代々木公園や新宿中央公園などで蚊に刺されたと思われる患者の発生が全国各地から報告され、患者数は157名に達しました。

さらには、奈良市新型インフルエンザ等対策行動計画が、約1年がかりで平成27年3月に完成し、今後の行動指針としての一助となるものと考えております。

新年度に入り、エボラウイルス病についてはリベリアで終息宣言が出されましたが、目の内側の膜の炎症である「ぶどう膜炎」と診断された眼球内部の眼液でのエボラウイルス自体の長期残存例も報告されており、まだまだ用心が必要です。また、5月中旬になって気温上昇と共に、デング熱患者の発生にも用心が必要です。

今年度も引き続き保健予防課では結核患者の早期発見を目指して、病院・診療所の医師には、ハイリスク患者の定期的な胸部X線検査の実施と、肺炎や呼吸器症状のある患者には喀痰検査を実施要請することが重要と考えております。

生活衛生課と保健・環境検査課では、食中毒予防のために給食施設・飲食店などの監視・指導を継続して、生肉（鶏・牛・豚）の喫食防止についての啓発を強調し続けます。さらに犬・猫の譲渡にも努力してまいります。

健康増進課では、今年度からABC検診（胃がんリスク検診）を導入し、受診率の向上を目指しています。乳幼児や小児の虐待事例の早期発見に努力を続けていきます。

本年も平成27年度版保健所事業概況を作成いたしました。奈良市保健所の業務についてご理解いただければ幸いです。

平成27年9月

奈良市保健所長

上野 満久

目 次

第1章 総 説

1	概要	1
2	沿革	1
3	人口・世帯数	
(1)	人口の推移	3
(2)	年齢構成別人口	3
4	施設の概要	4
5	組織及び事務分掌	
(1)	組織及び人員	4
(2)	事務分掌	5
6	職種別職員数	7
7	予算の状況	8
8	協議会	10

第2章 事業の概要

1	保健総務課	13
2	保健・環境検査課	14
3	生活衛生課	14
4	保健予防課	16
5	健康増進課	18

第3章 事業の実績

1	保健対策	
(1)	母子保健	21
(2)	予防接種	35
(3)	成人保健	42
(4)	健康づくり	49
(5)	たばこ対策	55
(6)	栄養改善	56
(7)	食育推進	59
(8)	精神保健福祉	62
(9)	難病	69
(10)	原爆被爆者対策	76
(11)	肝炎対策	76
2	予防対策	
(1)	結核	77
(2)	感染症	87

(3) エイズ対策 -----	92
3 地域保健	
(1) 奈良市保健所健康危機管理地域連絡会議-----	95
(2) 学生実習 -----	95
4 保健医療	
(1) 医事 -----	97
(2) 薬事 -----	99
(3) 医療安全相談 -----	100
(4) 献血・骨髄提供者推進事業 -----	101
(5) 免許申請等経由事務 -----	102
(6) その他 -----	102
5 生活衛生	
(1) 食品衛生 -----	103
(2) 生活衛生 -----	107
(3) 動物管理 -----	109
6 衛生検査	
(1) 行政検査 -----	110
(2) 一般依頼検査 -----	114
(3) その他 -----	116

第4章 人口動態

1 人口動態統計 -----	117
2 その他の統計 -----	138

参考資料

1 病院一覧 -----	141
2 関係団体一覧 -----	142
3 学会等発表一覧 -----	143

統計表の表章記号の規約	
計数のない場合	—
計数不明の場合	…
統計項目があり得ない場合	・
比率が微小の場合	0.0